

生物多様性 日本アワードについて

1. 概要

財団法人イオン環境財団及び環境省では、2010年に愛知県名古屋市で開催される生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）に向けた「生物多様性の保全」及び「生物多様性の持続可能な利用」を推進することを目的として、優れた取組を顕彰する「生物多様性 日本アワード」を本年6月に創設。10月9日には第1回授賞式を愛知県名古屋市で開催した。

2. アワードの概要

（1）名称

「生物多様性 日本アワード」（英語名：Japan Awards for Biodiversity）

（2）主催者

財団法人イオン環境財団及び環境省（生物多様性 日本アワード 実行委員会）

（3）顕彰の要件

国内における個人・団体による取組、もしくは国内に本拠地を置く個人・団体による海外における取組であって、「生物多様性の保全」又は「生物多様性の持続可能な利用」に顕著な貢献が認められること。

3. 部門

部門は、2つの領域（A「生物多様性の保全」、B「生物多様性の持続可能な利用」）と4つの分野（1「フィールド」、2「リサーチ」、3「プロダクト」、4「コミュニケーション」）から構成。それぞれの部門で最も優れた取組を優秀賞として選出（別紙）。さらにその中で特に傑出した取組を「生物多様性 日本アワード グランプリ」*として、環境大臣による顕彰を行った。

* グランプリ：1 B 利用フィールド部門優秀賞「地域企業との協働による谷津田の保全」（実施主体者：NPO 法人 アサザ基金、白菊酒造株式会社、株式会社 田中酒造店）

第1回 生物多様性 日本アワード 優秀賞受賞者一覧

1 A : 保全フィールド部門 優秀賞	
取組	組：知床の生物多様性に関する取組
実施主体者	：（財）知床財団
1 B : 利用フィールド部門 優秀賞	
取組	組：企業との協働による谷津田の保全
実施主体者	：アサザ基金及び関係企業等
2 A : 保全リサーチ部門 優秀賞	
取組	組：「農」に着目した地域における生物多様性の保全のための活動
実施主体者	：NPO法人農と自然の研究所
2 B : 利用リサーチ部門 優秀賞	
取組	組：エコロジカルネットワークの研究と実施
実施主体者	：鹿島建設（株）
3 A : 保全プロダクト部門 優秀賞	
取組	組：「コウノトリ育む農法」とコウノトリ共生米
実施主体者	：コウノトリ湿地ネットワーク、JAたじま・コウノトリ育むお米生産部会、 豊岡市、農業改良普及センター 他（50音順）
3 B : 利用プロダクト部門 優秀賞	
取組	組：生物多様性保全を含む10の調達方針
実施主体者	：積水ハウス(株)
4 A : 保全コミュニケーション部門 優秀賞	
取組	組：「生物多様性について考えてみませんか」定期の取扱い
実施主体者	：中日信用金庫
4 B : 利用コミュニケーション部門 優秀賞	
取組	組：ボルネオはあなたが守る！キャンペーン
実施主体者	：サラヤ(株)

